

学校目標・経営方針	将来、日本や国際社会の様々な分野で活躍し、社会の発展に貢献できる人材の育成を図る。	
本年度の重点目標	1 活用力や探究力を高める授業を展開し、確かな学力の定着を図る。	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 様々な体験を通じて、他者を思いやり、社会の絆を深める「しなやかな心」を育てる。	B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 体育活動・文化活動を積極的に推進し、心身共に健全な生徒を育てる。	C 不十分である。(4割以上)
	4 生徒の個性を活かし、自己の生き方・在り方を考えさせる進路指導を積極的に行う。	D 達成できなかった。(4割以下)
	5 スーパーサイエンスハイスクールにおける主体的・協働的な探究活動を深め、課題解決能力を育てる。	

山梨県立甲府南高等学校長 篠原 茂樹

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			年度末評価(2月25日現在)			
番号	評価項目	本年度の重点目標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策	
1	活用力や探究力を高める授業を展開し、確かな学力の定着を図る	具体的な方策	目標と指導と評価の一体化を目指した授業により、生徒の思考力・判断力・表現力を養う	授業参観 授業アンケート	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初掲げた目標に対して、その達成に向けた指導法及び、それに対する評価の研究を各教科会議で検討し、カリキュラム委員会でも報告する中で教科のつながりを図った。</li> <li>・ホワイトボードなどの個数を増やしたり、ICT活用により、授業展開の幅を広げる研究を検討する中で、生徒の主体的な協働的な学習活動を促すための授業改善を推進した。</li> <li>・試験の中に記述問題を出題することや、コロナ禍で工夫をしながら、グループワークの機会を設けるなどして、生徒が言語活動を通して深化した取り組みを行った。</li> </ul>
		生徒の主体的で協働的な学習により活用力・探究力を高める	文章を書く機会や発表する機会を設定し、言語活動の充実にも努める	学習の記録表 課題の状況把握		
		ボランティア精神の啓蒙に努め、主体的なボランティア活動を推進する	文章を書く機会や発表する機会を設定し、言語活動の充実にも努める	定期試験への記述問題 発表における総合評価		
2	様々な体験を通じて、他者を思いやり、社会の絆を深める「しなやかな心」を育てる	ボランティア精神の啓蒙に努め、主体的なボランティア活動を推進する	通学時マナーアップ運動と運動した安全登校や挨拶・身だしなみの指導を展開する	ボランティア1000回運動 環境委員会活動 インターアクト委員会活動	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会とインターアクト委員会を中心に広報、啓蒙活動を充実させ、自発的なボランティア活動を活性化したい。</li> <li>・自転車およびバイク通学者集金を計画し、事故違反の事例紹介や自転車賠償責任補償加入義務の説明などを通して、引き続き安全意識向上に努める。</li> <li>・道徳内容を扱うLHRは1学年で相互授業参観とし、道徳教材「自分との出会い」によるLHRを実施していきたい。</li> <li>・学校での人間関係だけでなく家庭環境や親との関係で悩む生徒が相変わらず多い。問題解決は容易ではないが、利用者のSOIに対する満足度は高いので、今後も引き続きSCのアドバイスを受けながら保護者や担任、学年との連携を密にしたい。生徒にとって少しでも状況が改善するよう努めていきたい。変化が大きく生徒が精神的に不安定になりがちな年度末から年度初めにかけてカウンセリングの空白期間ができてしまうことに対する検討が急務である。</li> </ul>
		道徳教育を推進し、しなやかな心を持つ、人間として調和のとれた生徒の育成に努める	関係機関との連携やスクールカウンセラーの活用により、教育相談の充実を図る	選考者数の統計調査 事故違反者数の統計調査		
		関係機関との連携やスクールカウンセラーの活用により、教育相談の充実を図る	道徳教育を推進し、しなやかな心を持つ、人間として調和のとれた生徒の育成に努める	LHRでの活動 各種行事等の実践事例		
3	体育活動・文化活動を積極的に推進し、心身共に健全な生徒を育てる	部活動を計画的・効果的に進め、学校の活性化と生徒の心身の健全な育成に努める	文化的・教養的行事等を通じて生徒の豊かな感性の育成に努める	各種大会の結果 部活動への参加率	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が長期継続し、部活動におけるコロナ対策が形骸化する可能性がある。保健支援等の分掌と連携し、定期的に啓蒙活動を行う。</li> <li>・線路祭は次年度もコロナ禍での開催となる。入念なコロナ対策を行ったうえで、生徒が活躍できる舞台を対策を徹底したうえでオンライン放送等を活用して実施したい。</li> <li>・歌声コンクールの再開に向け、課題を洗い出して準備を進めたい。</li> <li>・生徒の体力を推進するための動きかけをさらに工夫し、心身ともに健全な生徒の育成を目指す。</li> </ul>
		体育的行事等を通じてスポーツに親しませ、体力向上に努める	部活動を計画的・効果的に進め、学校の活性化と生徒の心身の健全な育成に努める	外部参加者へのアンケート調査		
		部活動を計画的・効果的に進め、学校の活性化と生徒の心身の健全な育成に努める	体育的行事等を通じてスポーツに親しませ、体力向上に努める	新体力テストの実施 生徒アンケートの実施		
4	生徒の個性を活かし、自己の生き方・在り方を考えさせる進路指導を積極的に行う	ホームルームや総合的な学習の時間を中心に、体系的プログラムによるキャリア教育を推進する	進路希望に応じた課外・模擬試験・学習会等を効果的に行う	発表における自己評価 及び相互評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を通じたキャリア教育の計画は出来ているので、その中で生徒が主体的に進路実現に向かえるような仕組みと評価の充実を図る。</li> <li>・生徒間の学力差が大きくなり、丁寧な指導が求められる一方で、教員の働き方改革の実現も急務である。オンライン環境を活用した学習支援の活用、模試検討会の実施などを検討していく。</li> <li>・社会の中で生きること意識させるべく、キャリアパスポートなどを活用し、自らを振り返り将来に活かす方策を検討する。</li> </ul>
		主体的な活動を通して、自己の進路と社会の諸問題を結びつけて考えさせる	進路希望に応じた課外・模擬試験・学習会等を効果的に行う	課外の実施回数 生徒アンケートの実施		
		主体的な活動を通して、自己の進路と社会の諸問題を結びつけて考えさせる	ホームルームや総合的な学習の時間を中心に、体系的プログラムによるキャリア教育を推進する	講演会や講話の実施 小論文指導		
5	スーパーサイエンスハイスクールにおける主体的・協働的な探究活動を深め、課題解決能力を育てる。	学校設定科目「フロンティア探究」を通して課題研究に全校で取り組み、学びに向かう力をつける	高大接続プログラムを開発し、ポートフォリオやルーブリックの研究を行う	研究発表会	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究をさらに深化させるために、課題研究におけるフロンティア・セッションの向上、またオリジナルポートフォリオ活用のための教員対象研修会を実施する。</li> <li>・3年間を通じた課題研究を効率よく進めるために、また大学総合型入試に対応できるポートフォリオを旨とし、進路指導者と協働しながらポートフォリオを改訂する。</li> <li>・コンケン大学付属高校との研究交流プログラムを発展させていくことを目標として、今後の交流内容を慎重に検討する。</li> </ul>
		サイエンスイングリッシュや研修旅行を通じて、実践的英語力を育成する	学校設定科目「フロンティア探究」を通して課題研究に全校で取り組み、学びに向かう力をつける	生徒・教員アンケート実施 ポートフォリオ ルーブリック		
		サイエンスイングリッシュや研修旅行を通じて、実践的英語力を育成する	学校設定科目「フロンティア探究」を通して課題研究に全校で取り組み、学びに向かう力をつける	サイエンスイングリッシュ 連携校との交流		

学校関係者評価	
実施日(令和3年3月8日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本中が特異な環境に置かれた年だが、先生方の創意工夫に満ち、熱意溢れた取り組みがなされた。</li> <li>・項目2「相互授業参観が効果的に進められ、授業改善に役立っている。」が本年度も他項目より低いが、過去より上昇傾向にある。相互授業参観の機能をお互いに認識しながら授業力の向上を期待する。</li> <li>・コロナ禍が続くであろうが、いかに生徒が主体的に学び、協働的な取り組みが出来るかを検討していく。</li> <li>・記述問題の出題内容や、生徒の活動を的確に取り入れることで授業展開により、記述力や、言語活動をさらに高めていけるよう研究していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動が否応なく制限される中であって、生徒は納得できる活動の日々を送ったのではないかと感じる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染といたって、次年度の環境が好転されることを願い、生徒の活動が一層飛躍するよう願っている。</li> <li>・3月に開催される南高音楽祭は文化局の総力を挙げたもので、南高独自のものであると思われる。このことは周知から高く評価されていることであり、引き続き頑張りたい。</li> <li>・部活動は、人間育成のため大切なものである。負けたくない強い心、仲間を思いやる優しい心、関わっていただいた人たちに感謝する心を大切にしたい。</li> <li>・様々な活動が中止・縮小され、メンタル面でのケア、活動でのモチベーションの維持等、課題が多い。心身の健全育成を願う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動が否応なく制限される中であって、生徒は納得できる活動の日々を送ったのではないかと感じる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染といたって、次年度の環境が好転されることを願い、生徒の活動が一層飛躍するよう願っている。</li> <li>・3月に開催される南高音楽祭は文化局の総力を挙げたもので、南高独自のものであると思われる。このことは周知から高く評価されていることであり、引き続き頑張りたい。</li> <li>・部活動は、人間育成のため大切なものである。負けたくない強い心、仲間を思いやる優しい心、関わっていただいた人たちに感謝する心を大切にしたい。</li> <li>・様々な活動が中止・縮小され、メンタル面でのケア、活動でのモチベーションの維持等、課題が多い。心身の健全育成を願う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動が否応なく制限される中であって、生徒は納得できる活動の日々を送ったのではないかと感じる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染といたって、次年度の環境が好転されることを願い、生徒の活動が一層飛躍するよう願っている。</li> <li>・3月に開催される南高音楽祭は文化局の総力を挙げたもので、南高独自のものであると思われる。このことは周知から高く評価されていることであり、引き続き頑張りたい。</li> <li>・部活動は、人間育成のため大切なものである。負けたくない強い心、仲間を思いやる優しい心、関わっていただいた人たちに感謝する心を大切にしたい。</li> <li>・様々な活動が中止・縮小され、メンタル面でのケア、活動でのモチベーションの維持等、課題が多い。心身の健全育成を願う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の活動が否応なく制限される中であって、生徒は納得できる活動の日々を送ったのではないかと感じる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染といたって、次年度の環境が好転されることを願い、生徒の活動が一層飛躍するよう願っている。</li> <li>・3月に開催される南高音楽祭は文化局の総力を挙げたもので、南高独自のものであると思われる。このことは周知から高く評価されていることであり、引き続き頑張りたい。</li> <li>・部活動は、人間育成のため大切なものである。負けたくない強い心、仲間を思いやる優しい心、関わっていただいた人たちに感謝する心を大切にしたい。</li> <li>・様々な活動が中止・縮小され、メンタル面でのケア、活動でのモチベーションの維持等、課題が多い。心身の健全育成を願う。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制約の多い年度だったが、生徒会活動やSSH研究などの活動を通して、進路実現を工夫する南高生の様子を頼もしく感じた。</li> <li>・「自分の在り方・生き方を考える」とは「人間としてどのように生きることが価値ある生き方なのか、自身のあるべき姿を探求し、さらに個々の特性(性格、能力、適性、興味・関心)を理解し、かけがえのない自分という存在について思索を深め、自己実現を目指していくこと」と考える。生徒の在り方生き方は様々であり、画一的なものではないということ。さらに一人一人が個性をもったかけがえのない存在であることを痛感している。「南高校に在りては、現在の進路指導が、そのような面を適切にとらえて指導されていることを嬉しく思う。</li> <li>・学生にとってキャンパスライフがなければ、学生としての90%が失われる気がする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省から「これまでの努力を継続するとともに、研究開発のねらいの達成が可能と判断される」として全国の上位20校に中間評価されたことについて嬉しく思う。</li> <li>・学校設定科目「フロンティア探究」や独自教材の「ポートフォリオ」の取り組みは中間評価結果でも認知されていると考える。</li> <li>・南高SSアカデミー会員である卒業生をTAとして活用するなど、とても素晴らしい。今後も、これらの活動をととして、本校から将来社会を牽引する科学技術人材を輩出して欲しい。</li> <li>・さらなる開発と、周囲への波及にも期待したいところである。</li> <li>・SSH、フロンティアスピリットを一筋の光としてほしい。</li> </ul>